

令和4年度 第2回 「芳賀・宇都宮地域公共交通活性化協議会」結果概要

- 日時 令和5年3月24日（金）16時15分～17時15分
- 場所 栃木県産業会館 8階大会議室
（オンライン併用）
- 内容
- 1 開 会
 - 2 あいさつ（森本会長）
 - 3 議 題
 - （1）「芳賀・宇都宮東部地域公共交通利便増進実施計画」（案）について
 - （2）「芳賀・宇都宮地域公共交通計画」の施策の方向性等について
 - 4 そ の 他
 - 5 閉 会

○ 会議結果・主な発言の要旨

- （1）「芳賀・宇都宮東部地域公共交通利便増進実施計画」（案）について
（結果）

➡ 計画の内容について各委員了承

（主な発言の要旨）

【委員】

- ・ 利便増進計画の計画区域は宇都宮市東部地域と芳賀町となっているが、計画内に宇都宮駅西側のバス路線も一部含まれており、こうした計画区域外の路線については、利便増進計画が国土交通大臣認定を受けた際に受けられる道路運送法の特例の対象とならない。
- ・ 具体的な記載方法については、本省と相談しながら考える必要があるため改めて相談してもらいたい。

【委員】

- ・ 今回の計画は、LRT と一体的に利用できるフィーダー交通となる路線バスの位置づけがメインであると認識している。
- ・ 今回、示した案については了承するが、LRT の運行頻度が高く利便性が高いことに対し、LRT に接続する路線バスの運行頻度が少ないため、結果として利用者が離れてしまうと考えられる。
- ・ そのため、LRT 開業後にフィーダーバスがどのような状況でどういった利用がされているか、実態調査を行う必要があると考えており、単に利用者数の把握だけではなく、どのようなシチュエーションで利用されているのか把握してもらいたい。

【委員】

- ・ バスの本数だけでなく、ダイヤとしての提示が必要である。いつ頃、LRT と新設する路線バスのダイヤを提示する予定か。

【事務局】

- ・ LRT と同じ、開業の約 2 か月前を目途に公表する予定である。

【委員】

- ・ 別紙 1-1 「地方公共団体による支援の内容」において、バス運行の委託を行うとしているが、バス業界もドライバー不足が顕著である。2024 年に「改善基準告示」の改正により、労働時間の短縮がされ労働条件が大きく変わる。運行委託とともにドライバー不足に対しても支援をお願いしたい。

【委員】

- ・ LRT のフィーダー交通の実態調査については、データを蓄積していく必要がある。LRT 利用者が電停まで、どの交通手段を使っているか、どのくらい時間がかかるのかなどのニーズを調べてもらいたい。西側の LRT 延伸の際の参考にもなる。

(2) 「芳賀・宇都宮地域公共交通計画」の施策の方向性等について

(結果)

➡ 施策の方向性等について各委員了承

(主な発言の要旨)

【委員】

- ・ 資料 2 の「現行計画の目標指標の達成状況」については、公共交通の満足度が予想通り低い。LRT を導入すると満足度が上がると考えているのか、LRT とバスとの乗り継ぎも含めて満足度が上がると考えているのか、どちらか。
- ・ また、満足度の向上に向けては、理念だけでなく、運賃が安いことや、運行本数が多いことや、速達性があることや、円滑な乗り継ぎが重要であると思うので具体的な対策が必要である。

【事務局】

- ・ 現在、LRT の導入やバス路線の再編の実施前のため、実際にサービスが高まる前であることから、満足度が低くなっていると捉えており、今後、運賃施策や乗継環境の整備など様々な取組を一体的に進めていくことで向上すると考えている。

【委員】

- ・ 資料 3 の「課題の解決に向けた施策の方向性②」について、「多様な交通手段の乗り継ぎ・乗り換え環境の構築」とあるが、デマンド交通・地域内交通には触れられているが、タクシー乗り場についても触れてもらいたい。
- ・ また、運賃負担軽減策の充実が示されているが、現在、乗務員不足も進み、待遇改善

を図るには適切な運賃が必要になることから、タクシー業界では難しいと考える。

- ・ また、安全の確保に向けても、利用者に負担してもらわないと、持続可能な公共交通を維持できない。

【委員】

- ・ 目標指標である満足度について、性別、学生や高齢者など、属性によって満足度が違うと考えられるため、それによって対応も異なるを考える。

以 上